

世界におけるレンタル業の第1号は電話の発明者グラハム・ベルが1887年に始めた「電話機の貸し出し」だそうですが、日本のレンタル業は江戸時代までさかのぼります。貸し出したものは「ふんどし」。汚れたふんどしをきれいなふんどしと交換する「貸しふんどし屋」。洗濯する時間も惜しい人に重宝されたそうです。

知っここ! 「税」の マメ知識

今月のマメ知識:【国税も手軽にPay払い】

国税は、申告した税額に基づき納税者自身が期限までに納付する必要があります。これまでは金融機関の窓口で納付したり、指定した口座からの振替による納付がほとんどでした。ところが最近ではクレジットカードやインターネットバンキングなどを利用した納付、e-Taxによるダイレクト納付、コンビニでのバーコード納付などといったいろいろな方法があります。



インターネットバンキングなどを利用した納付、e-Taxによるダイレクト納付、コンビニでのバーコード納付などといったいろいろな方法があります。

これに加えて2022年12月1日からスマートフォンのアプリによる「Pay払い」が可能になりました。これまでもクレジットカードを使った納付はありましたが、利用者が金額に応じた手数料を負担する必要がありました。しかしPay払いでは手数料は発生せず、利用者に負担が生じません。現在、利用可能なPay払いは6種類あります。「アカウント残高を利用した支払い方法のみ利用可能」で、一度の納付での上限額は30万円です。キャッシュレス法をもとに税金など国や市町村への支払いのキャッシュレス化はますます進んでいくでしょう。

光を放つ 名言コラム

【自分に足りないところを振り返る】

サッカーワールドカップ・カタール大会で大活躍した堂安律選手。スポーツ誌の『Number』が2018年のインタビューの一部をインターネットで紹介していました。Jリーグを経て10代で欧州に渡った堂安選手は、相手チームの選手から「なめられていた」時期があるそうで、強い反骨心を持っています。同時に「自分に足りないところを毎日、僕はしっかり振り返ってます」と話していました。悔しいことがあったときに「次こそ」と気を引き締める人もいるでしょう。日本代表の大躍進に触発されて「自分もがんばろう」と思った人は日本中にいるはず。しかしせっかくともった「やる気の炎」も放っておけばすぐに消えてしまいます。目標達成のために日々、課題を見つけてクリアするという地道な努力があるからこそ、堂安選手は最高の舞台上で爆発的な力を発揮できたのでしょう。日々の振り返りやってみませんか。

世界の偉人伝

今月の偉人:【マリ・キュリー】

キュリー夫人はポーランド出身の物理学者・化学者です。放射性物質の研究に生涯をささげ、放射能やラジウムの発見によりノーベル物理学賞と化学賞を受賞しました。2度の受賞は人類初の偉業である上、男女差別が常識の時代に女性の受賞も史上初。女性研究者の地位の確立にも貢献しました。研究の成果に特許を取らず、富や栄誉を辞退したキュリー夫人は、自らを「科学に偉大な美を見る者のひとり」と語っています。ひたすら科学の美を追い、人類に奉仕した愛の人だったのです。

イカの胴体の皮は大きいので一気にむけますが、薄く残った皮は野菜ネットですると細かいところまできれいに取れます。または開いたイカをバットに入れて、大きじ1〜2の酢を薄皮に振り掛けて3分ほど待ってから皮を引くと、残った皮がスルリとむけます。

知得する 知恵袋

才人の言葉

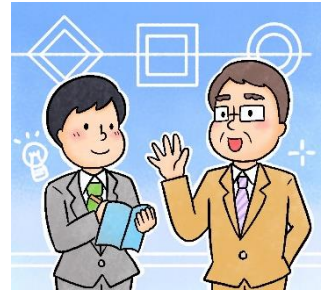
思い出す価値のあることとは

「キング・オブ・ロックンロール」と称されるエルヴィス・プレスリーの言葉。人の記憶に残らなくてもいいが、せめて自分の思い出になるようなことをしたいものだ。

振り向けば あそこにも 商売のヒント ここにも

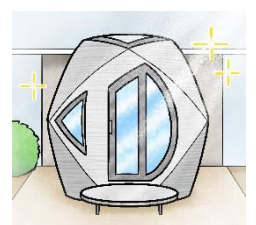
今月の商売のヒント：【一次情報にこそ価値がある】

今から2年前、トヨタ自動車の豊田章男社長は「100年に一度の大変革の時代を生き抜くために」という社長メッセージを出しました。「私は、トヨタを“自動車をつくる会社”から“モビリティカンパニー”にモデルチェンジすることを決断しました」から始まるメッセージの中で、約100年前の米国に1500万頭いたとされる馬が、今では1500万台の自動車に置き変わった現実を踏まえ「今はその時と同じか、それ以上のパラダイムチェンジを迎えているのではないか」と問いかけています。過去の苦難を生き抜いてきた企業にはいくつかの共通点がありますが、そのひとつは「時代の変化への対応力」ではないかと思います。フィルム製造から化粧品、医薬品へと分野を広げ、近年は医療用機器の製造受託にも注力している2兆円企業といえば富士フイルム。ゲーム機やゲームソフトで世界的に有名な任天堂の原点は花札。国内外で約2万店舗を展開するローソンは、元をたどれば米国オハイオ州の牛乳屋でした。時代を生き抜いてきた企業は、その時々で業種業態を変容させながら環境に適応する工夫をしてきたのでしょう。ところで、こうした良い例をいくら聞いても、人づてやネットの情報では実感が乏しく、自分事になりにくいものです。結果、頭で分かっても行動につながりません。そこであなたの周りに長く続いている商売があれば、ぜひ直接出向いて、ご本人から話を聞いてみてはいかがでしょうか。実際にやっている人が持っている「一次情報」にこそ、時代を生き抜く知識や知恵が詰まっていると思います。



今月のトピック：【3Dプリンター住宅】

3Dプリンター製の家が現実化しています。日本初の住宅「Sphere(スフィア)」は10平方メートルの球体型。一棟まるごと3Dプリンターで書き出すと24時間以内に完成し価格は330万円と格安です。この春には、電気や水道などを完備した一般住宅を500万円で販売予定だとか。住宅難の日本のみならず、未来型住居に世界が注目しています。




トナリの本棚

【月の立つ林で】

本屋大賞候補常連の青山美智子の最新刊。うまいかない人生を嘆く主人公たちとともに、大切なことに気づいて新しい一日を生きていきたくなる一冊です。



元氣と氣づきを提供する
東京都豊島区池袋の佐藤茂税理士事務所 
豊島区池袋 2-60-7 ルート池袋第3ビル4階
電話：03-3988-8820 FAX：03-3988-8824
<http://www.satousigeru.jp>